値一覧の設定

設定の概要



設定手順

1. 【値一覧の値を提供するフィールドの設定】

▼「断層コード」テーブルの〈テーブルプロパティ〉ウィンドウを開きます。 [凡例]フィールドを選んで[主(プライマリ)キー]アイコンを押し、主キーに設定します。[OK]ボタンを押します。

🔧 断届コード - テ	-วันวัดパティ	- • ×
ーテーブル――		
名前	断層コード	
説明	断層コード.csvから読み込まれたデータベース	
アタッチメント	キーフィールドでリレート 🗾 テキストエンコーディング:日本語(Shift-JIS)	_
+€©⊁€₽	12 🕼 🖉 🚰 🚍 🙃	
フィールド	タイプ <u>主(プライマリ)キー</u> に示用単位 Req デフォルト 最小 最大 使用法 説明	
fz≡ code	整数 32-bit 4 いい	
6° 7'G 2/		
<u> </u>		<u></u>
リレート先 🛛	≩し	
入力スタイル	✓ 不正な値の際の動作:	_
	OK キャンセ	ルーヘルプ

▼「断層名sample」テーブルの〈テーブルプロパティ〉ウィンドウを開きます。 [断層名]フィールドを[主(プライマリ)キー]に設定します。[OK]ボタンを押します。

➡ 断層名sample -	テーブルプロパティ	_ _ X
ーテーブル――		
名前	断層名sample	
説明	断層名2.csvから読み込まれたデータベース	
アタッチメント	キーフィールドでリレート ゴ テキストエンコーディング:日本語(Shift-JIS)	_
フィールド <i>─</i> _		
+É₿ <mark>┣</mark> Ҳ₫₫	121 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	
フィールド	タイプ <u>主(プライマリ)キー下用単位 Req デフォルト 最小 最大 使用法 説明</u>	
● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	ユニコードテキスト 10 いい	
人力スタイル	▲ 不止な値の際の動作:	_
		2ル ヘルプ

2.	【targetテーブルの作成】
	▼値一覧を利用する新規テーブルを作ります。 ライン要素のちボタンメニューから「新規テーブル」を選びます。

【テーブルの新規作成ウィザード】
「ユーザ定義」を選択
↓ 次へ
名前:「target」と入力
↓ 次へ
下のウィンドウで「各要素に対して厳密に1レコード」を選択
● ● ●
どのようにレコードを要素と関係づけますか?
キーフィールドでリレート 任意の要素に対して任意のレコード 複数要素に対してコード 1要素に対して複数レコード 1要素に対して複数レコード
日本本に対して厳密に1レコード
↓ 次へ
テーブルが作成されました
↓ 次へ

▼〈テーブルプロパティ〉ウィンドウで[テキストエンコーディング]を「日本語(Shift-JIS)」にします。 [フィールドの追加]アイコンを押して「自動インクリメント(増加)」を選び、フィールドを作ります。 フィールド名に「ID」と入力します。

₩ テーブルプロパティ	- 0 - X
_ テーブル	
名前 target	
説明	
アタッチメント 各要素に対して厳密に1レコード 🛛 デキストエンコーディング: 日本語(Shift-JIS)	_
<mark>년</mark> ॏХ祖郢道與 ▓∥ ♪ # # ≜ ↔	
ID 自動インクリメント(増加) 4 いい 1	
A	22
リレート先 なし 🗾 値一覧の設定 次のキー: なし 🗾	
入力スタイル 🔽 不正な値の際の動作:	_
OK キャン	セルーヘルプ

▼[フィールドの追加]アイコンを押して「日本語(Shift-JIS)テキスト」を選び、フィールドを作ります。 フィールド名に「凡例」と入力します。 [凡例]フィールドをクリックし、「リレート先」メニューから"断層コード.凡例"を選びます。 [入力スタイル]メニューから「選択肢を表示」メニューを選択します。

「人力スタ	ィル」	メニュ	. <u> </u>	リ選択の	文を 衣 示]メニュー	を選択し	ノ おり。

★ target - テーノ)	
_ テーブル――	
名前	target 」非表示
説明	
アタッチメント	「各要素に対して厳密に1レコード 👤 テキストエンコーディング: 日本語(Shift-JIS) 👤
<mark>ŀᢓ</mark> ŮX €₽	佐尾 🍿 🖉 💣 🖴 🗝
フィールド	タイプ サイズ Dec 表示用単位 Req デフォルト 最小 最大 使用法 説明 🔤
	自動インクリメント(増加) 4 いい 367
● ● 断層名	日本語(Shift-JIS) ラキスト 50 VV
<u>م</u>	
リレート先 圕	所層コード.凡例 🗾 値一覧の設定 次のキー: なし 🗾
入力スタイル選	選択肢を表示
	OK キャンセル ヘルプ

▼さらに、[フィールドの追加]アイコンを押して「日本語(Shift-JIS)テキスト」を選び、もう一つフィールドを作ります。 フィールド名に「断層名」と入力します。 [断層名]フィールドをクリックし、「リレート先」メニューから"断層名sample.断層名"を選びます。 [入力スタイル]メニューから「選択肢を表示」メニューを選択します。

💘 target - テーブル	レプロパティ						
テーブル――							
名前	target						□ 非表示
説明							
アタッチメント	各要素に対して厳密に1レコ	-r 🔳	テキストエンコ	コーディング:	日本語(Shif	t-JIS)	_
┝ᢓ <mark>ŮX ॡ</mark> ॔ॷ	t <u>e til 📓 🖉 🖉 🖶 </u> 🚳 🛛						
フィールド	タイプ	サイズ Dec	表示用単位 Re	∋q デフォル)	└ 最小 最大	使用法 説明	
TD 、例	自動インクリメント(増加) 日本語(Shift-JIS) テキスト	4 50	V V	ง√ 36 ง√	7		
∾ 断層名	日本語(Shift-JIS) テキスト	50	V	۶V			
▶ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	f facesmale 略属名 ▼1 值—■	ちの設定	次のモー・方丁		T		
リレートル 通			人のイニ りなし ▼ 不正た値の	∕ カ胸の動作・□っ	シントの	+2	
	SI//IX C 3//1/			2 PAR 2 301 F • []		////	<u>ات</u>
					<u> </u>	キャンセル	<u> ヘルプ</u>

[OK]を押してテーブルプロパティを閉じます。

- 3.【targetテーブルに値を入れる】
 - 作成したtargetテーブルを開きます。

▼IDフィールドに昇順の整数を入れます。 テーブルの[レコード]メニューから[既存レコードにデータを入れる]を選びます。 下記のウィンドウが開きます。[条件]を"ゼロならば"、[手法]を"シーケンシャル"にします。

💐 データベースレコードを増やす	
フィールド名 タイプ 条件	
ID 整数 ゼロならは	`▼ シーケンシャル▼
凡例 テキスト 行わない▼ 断層名 テキスト 行わない▼	
適用	
@ すべてのレコード (366)	
●アクティブ要素にアタッチされた	zレコード (1)
0k	<u>キャンセル ヘルプ</u>

[OK]を押すと、「ID」フィールドに値が入ります。

▼「凡例」フィールドと「断層名」フィールドに表示された▼をクリックして、任意の値を選択します。

♥ target ¥ ライン ¥ fault_i_1		
テーブル 編集 レコード フィールド		
□★≒☆?☆★₩₩₩₽®₫₩		
ID 凡例	断層名	
	T	断属名
□□□□2回裂帯を伴う実在断層		
3 伏在および推定断層 4 いしょう パパカビローいし to 2.	<u> </u>	
		一山断層
		七山断層
	十二山断層 ▼	三山断層
	+二山断層 ▼	九山断層
9 労団増	<u> </u>	二十一山断層
10 男装市を住う美社図慣 11 前刻黒ね伴う実在断層(伴在部)	<u> </u>	
11 労扱帝では「天江的僧(以江印) 12 前列業な伴う衛上監属		
13 実在断層の走行及び傾斜		立山城屋
	九山断層 ▼	大山断層
	+七山断層 ▼	「二日」の「「「」」」
16 推定活断層		
17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 1	<u> </u>	十三山断層
18 10-20-20-20-20-20-20-20-20-20-20-20-20-20		十九山断層
	÷	十二山断層
21 断層 高角傾斜断層		十五山断層
22 断層(確定及び推定)実在および推定断層	T	十八山断層
	T	十六山断層
		十四山断層
366 / 366 レ: 活断層の疑いがあるリニアメント		十山断層
「「「「「「「「」」」(「「」」」(「「」」」(「」」(「」」(「」」(「」」		四山断層

▼[凡例]フィールドと[断層名]フィールドに値が入りました。

auto increment 値一覧を設定したフィールド フィールド () 新暦コード.凡例 "フィールドの ノ ノ ノ	値一 D値を使用 "断 】	・覧を設定したフィールド 層名sample.断層名 "フィ	ールドの値を使用
♥ target ¥ ライン ¥ 新規ペクタ (4)			
テーブル 編集 レコード フィールド			
□ 🖌 1k +k 🕆 ½ 🐄 🚧 🔚 @ 💕 🗉			
ID 凡例	断層名		
1 伏在活断層		▼ 4	
2 2 剪裂帯を伴う実在断層		<u> </u>	
3 伏在および推定断層		<u> </u>	
		<u> </u>	
□5 断層 高角傾斜断層	」二十山断層		
┃ 6 伏在および推定断層	」三山断層	▼	
7 断層 高角傾斜断層 ▼	!│十二山断層	▼	
■	┙┼二山断層	▼	
9.剪断層 🔹 🔹		▼	
10 推定断層(伏在部分)		▼	
11 活断層(水平ずれ方向、落下方向付き) 🔻		▼	
12 衝上断層	·		
13 剪裂帯を伴う実在断層(伏在部)			
14 活断層(水平ずれ方向、落下方向付き) ▼	小山断層		
■ 15 伏在および推定断層(推定部分) ■	• 十七山断層		
16 (伏在および推定断層(推定部分) 🔹	11十七山断層		

値一覧に存在しない値を入力したい場合、以下のように設定します。

▼〈テーブルプロパティ〉を開き、[断層名]フィールドを選んで、[入力スタイル]メニューから「テキストフィールド」を選びます。 [不正な値の際の動作]メニューから、「新規レコードを追加するように催促」を選びます。

🔧 target - テーブ	
ーテーブル――	
名前	target 」 非表示
説明	
アタッチメント	各要素に対して厳密に1レコード 👤 テキストエンコーディング: 日本語(Shift-JIS) 👤
フィールド―	
+2 🗅 🗙 🐔 🕏	14月 🍿 🖉 🖉 🚍 👄
フィールド	タイプ サイズ Dec 表示用単位 Req デフォルト 最小 最大 使用法 説明 🔤
ID 、 「」例	自動インクリメント(増加) 4 いい 367 日本語(Shift-ITS) テキスト 50 いい
● 断層名	コンキ語 (Shift-JIS) デキスト 50 いい
51	
リレート先 🛽	断層名sample.断層名 ➡ 値一覧の設定 次のキー: なし
入力スタイル	テキストフィールド 🗾 不正な値の際の動作: 新規レコードを追加するように催促 🗾
	OK キャンセル ヘルプ

[OK]を押してテーブルプロパティを閉じます。

▼targetテーブルを開き、断層名フィールドに、新規の値を入力します。[変更の保存]アイコンを押します。

k target ¥ ライン ¥ fault_i_1
テーブル 編集 レコード フィールド
□★☆☆?☆.★毎類 <mark>日</mark> @■個
ID の人内 変更の保存 断層名
1 新たな名前断層
2 剪裂帯を伴う実在断層 ▼
3 伏在および推定断層 ▼
4 伏在断層、潜在断層 ▼
5 断層 高角傾斜断層二十山断層
366 / 366 レコードが表示されています。

▼〈質問〉ウィンドウが出ます。[はい]を選択します。_____

🍾 質問	x
、新しい名前断層、値を持ったレコードが 、断層名sample、テーブルにありません、作成しますか?断	層名
はい いいえ へ)	レプ

▼値一覧の参照テーブルが単ーレコード表示されます。再度新規の値を入力します。[保存]アイコンを押します。

♥ 断層名sample ¥ ライン ¥ fault_i_1
テーブル 編集 レコード
C <mark> </mark> ~ C 전 전 과 패 원 <
断層名 新たな名前断層
<u></u>
新規未アタッチレコード 21 レコード/テーブル